



2020年12月期 第3四半期 決算説明資料

オプテックスグループ株式会社

証券コード6914

2020年11月9日

<免責事項>

本資料に記載しております、オプテックスグループ株式会社の業績、戦略、事業計画等の将来予測を示す記述については、発表時点で入手可能な情報による判断および仮定に基づいております。判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が記述されている将来予測とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

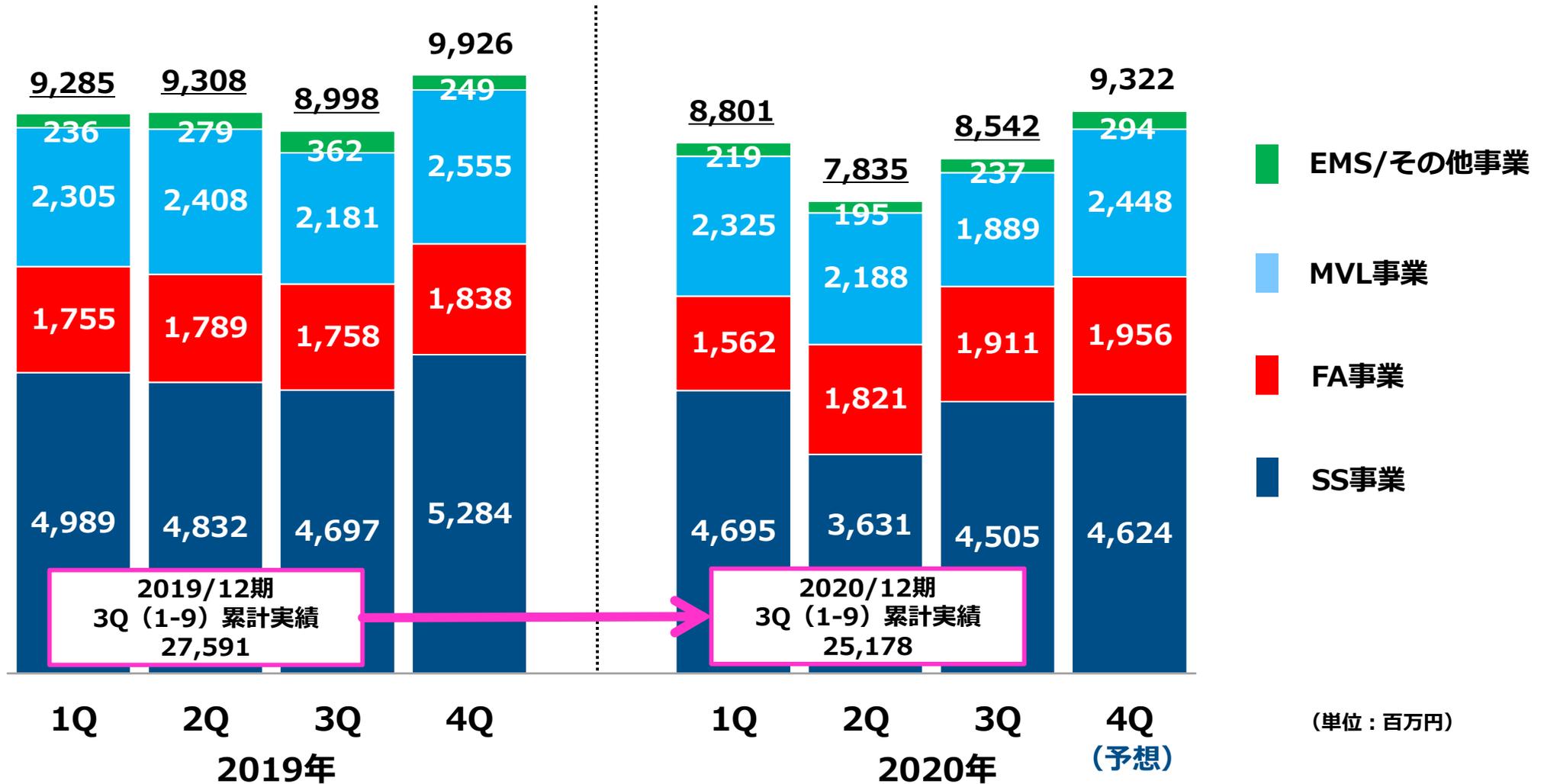
2020年12月期 3Q連結決算のPOINT

- 売上高は、コロナ禍で引き続き経済活動が抑制されたことにより伸び悩み、前年同期比で-9%
- 営業利益は、経費削減等に努めたが、売上総利益の減少により、前年同期比で-32%

2020年12月期 3Q連結決算総括

経営成績 (単位:百万円)		2019/12期 3Q (1-9) 累計実績	2020/12期 3Q (1-9) 累計実績	増減額	増減率
売上高		27,591	25,178	-2,413	-8.7%
営業利益 (営業利益率)		1,868 (6.8%)	1,266 (5.0%)	-602	-32.2%
経常利益		1,814	1,343	-471	-26.0%
親会社株主に帰属 する四半期純利益		1,355	713	-642	-47.4%
1株当たり四半期純利益 (円)		36.89	19.73		
為替レート (円)	1USD	109.15	107.59		
	1EUR	122.66	120.90		

2020年12月期 3Q連結売上高 四半期推移 (前年同期比)

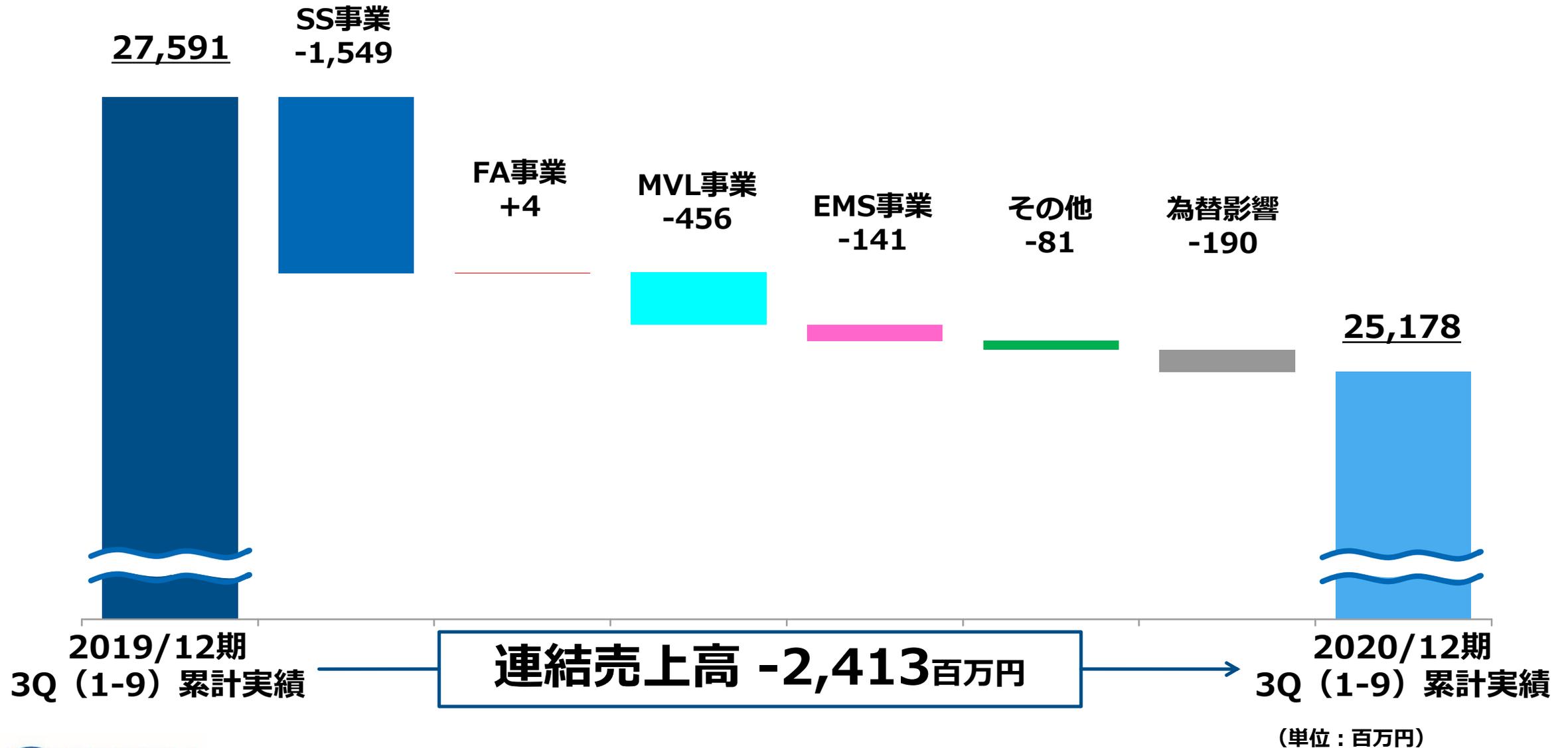


2020年12月期 3Q連結決算 セグメント比較

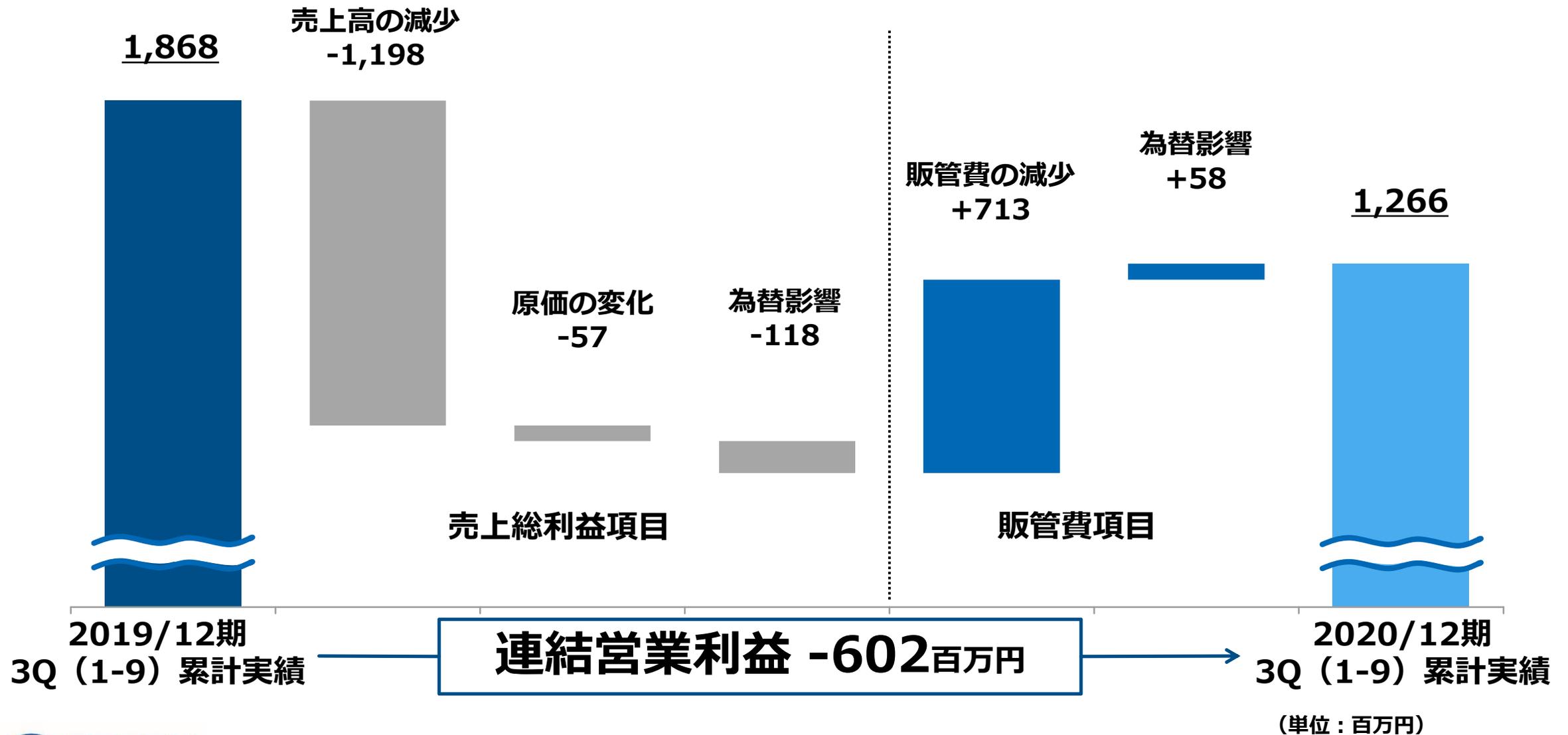
経営成績 (単位:百万円)	2019/12期 3Q (1-9) 累計実績		2020/12期 3Q (1-9) 累計実績			
	売上高	営業利益 (営業利益率)	売上高	増減率	営業利益 (営業利益率)	増減率
SS事業	14,518	1,124 (7.7%)	12,831	-11.6%	712 (5.6%)	-36.6%
FA事業	5,302	424 (8.0%)	5,294	-0.2%	497 (9.4%)	17.2%
MVL事業	6,894	387 (5.6%)	6,403	-7.1%	120 (1.9%)	-68.9%
EMS事業	444	-6	299	-32.6%	45	—

各セグメントの詳細情報は8ページ以降に記載

2020年12月期 3Q連結売上高 増減要因（前年同期比）



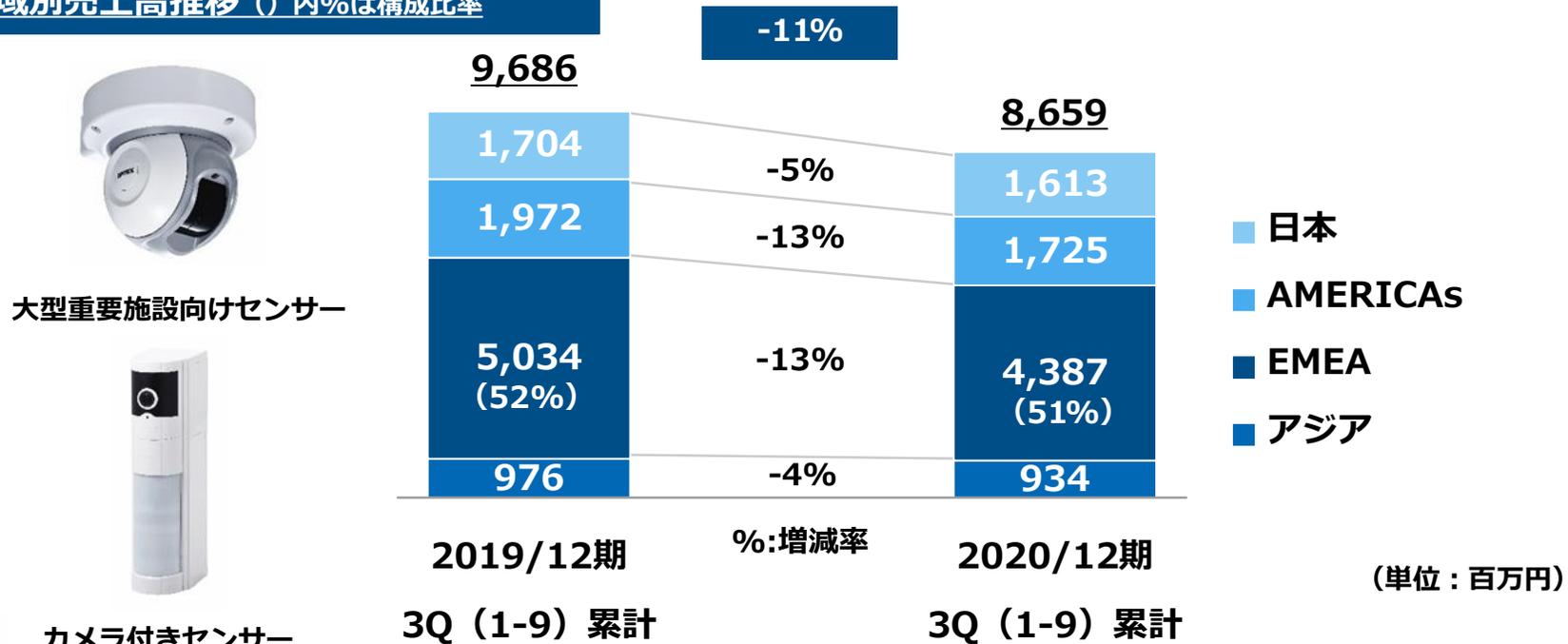
2020年12月期 3Q連結営業利益 増減要因（前年同期比）



セグメント・SS事業（防犯関連）

地域	2020/12期 3Q（1-9）累計実績
日本	警備会社及び大型重要施設向け屋外警戒用センサーの販売が伸び悩み減収
AMERICAs	コロナ禍における営業・販売・設置活動の制限により、大型重要施設向け案件が先送りとなり減収
EMEA	コロナ禍における営業・販売・設置活動の制限により、南欧地域での一般住宅向け屋外警戒用センサーの販売が伸び悩み減収
アジア	コロナ禍において中国・韓国での販売が伸び悩み減収

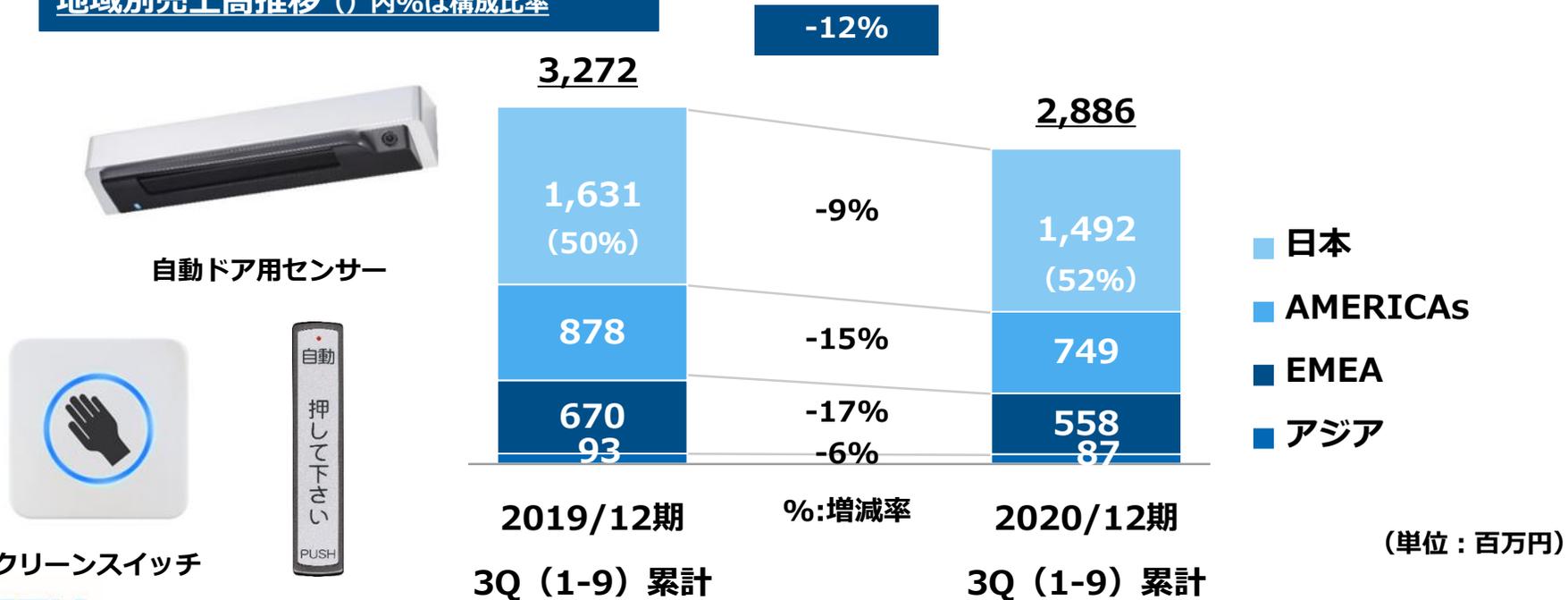
地域別売上高推移（）内%は構成比率



セグメント・SS事業（自動ドア関連）

地域	2020/12期 3Q（1-9）累計実績
日本	コロナ禍の影響で小売業界の投資抑制が継続し、販売が伸び悩み減収
AMERICAs	コロナ禍の影響で北米大手顧客の営業・販売・設置活動が制限され減収
EMEA	コロナ禍の影響で欧州大手顧客の営業・販売・設置活動が制限され減収

地域別売上高推移（）内%は構成比率

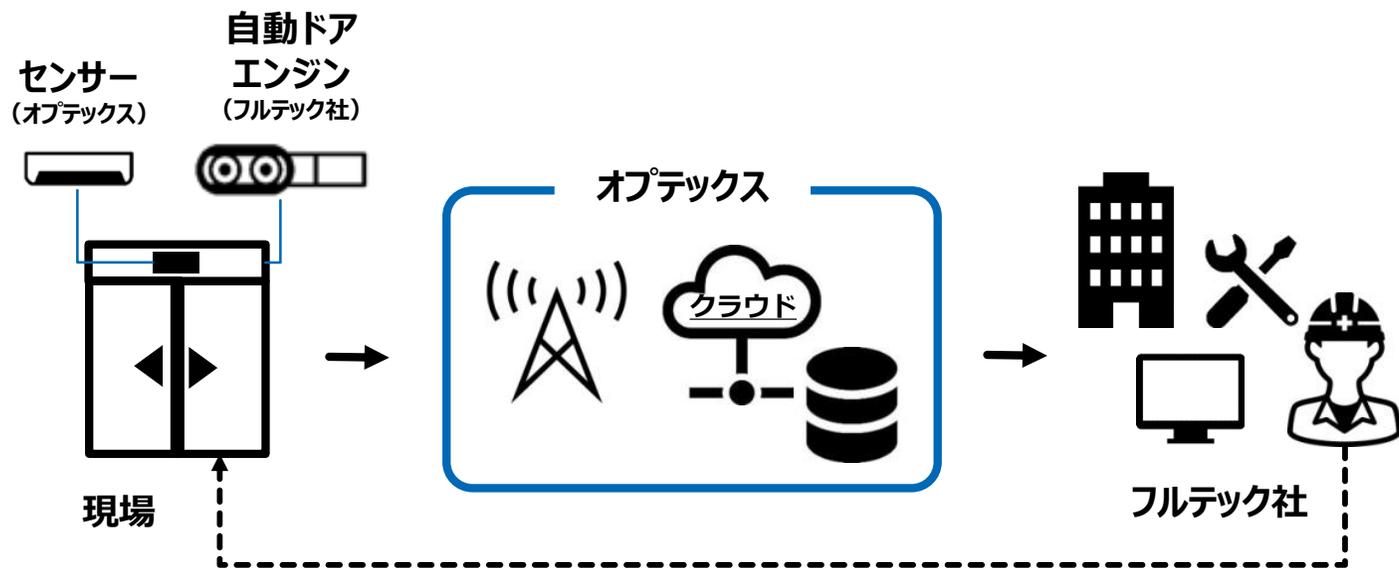


自動ドアから得られるデータを活用した遠隔モニタリング

オプテックス(株)、国内初の「自動ドアデータプラットフォーム」を開発

第一弾として、フルテック(株)※が自動ドアの保守契約サービスに活用（2021.1開始）

※フルテック株式会社 自動ドア装置の販売・施工・保守サービス（東証1部 証券コード 6546）



自動ドアデータプラットフォームとフルテック社サービスの流れ（イメージ）

リアルタイムで現場の状況を把握

- ・機器、設備の予知保全
- ・保守サポートの効率化

例：接続機器の故障や状態の確認

ドアの開閉回数の情報入手 等

IoT技術を使ったソリューション提供により更に事業拡大

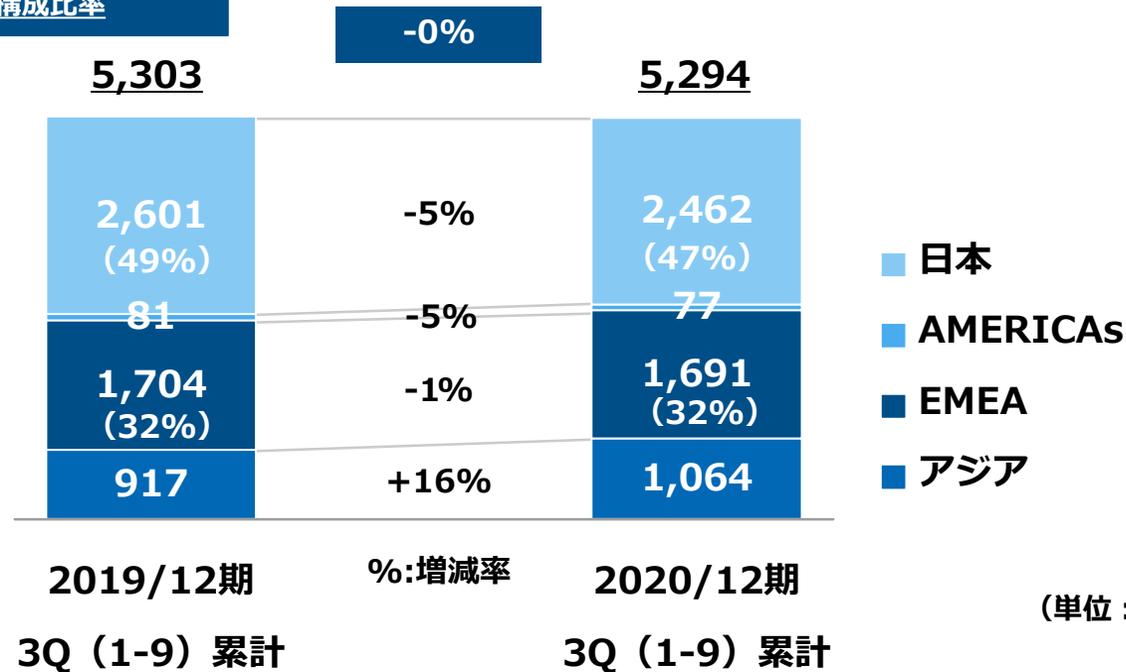
セグメント・FA事業（ファクトリーオートメーション事業）

地域	2020/12期 3Q（1-9）累計実績
日本	食品業界向けに、画像センサーの販売が堅調に推移したものの、自動車関連業界での設備投資需要が伸び悩んだことにより減収
EMEA	コロナ禍の影響による経済活動の抑制が緩和され、OEM先での販売が回復に転じ横這い
アジア	中国の設備投資需要の増加により、変位センサー等の販売が順調に推移し大幅増収

地域別売上高推移（）内%は構成比率



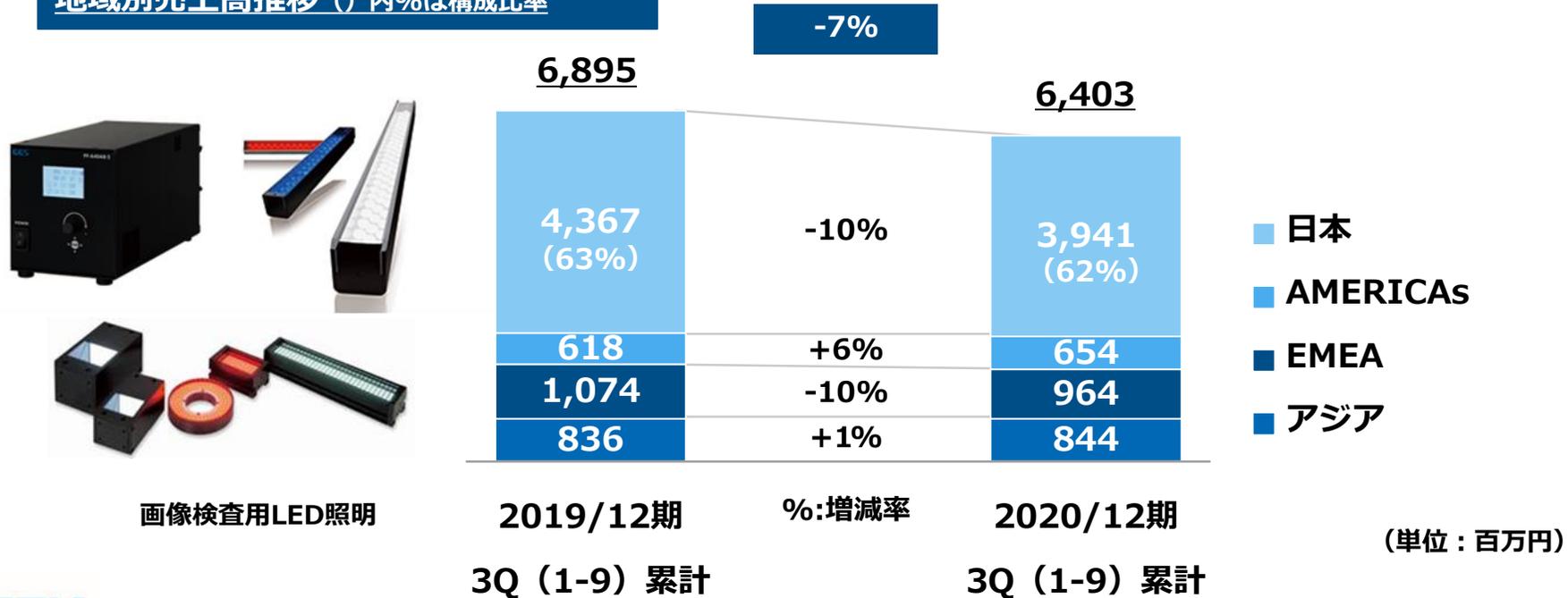
変位センサー



セグメント・MVL事業（マシンビジョン照明事業）

地域	2020/12期 3Q（1-9）累計実績
日本	5G関連投資向けの販売が堅調に推移したものの、2Q以降の営業活動制限が影響し減収
AMERICAs	3Q（7-9月）に経済活動の抑制が緩和され、5G関連投資向けの販売が順調に推移したことにより増収
EMEA	コロナ禍の影響による2Q（4-6月）の経済活動抑制で減収
アジア	中国経済が急回復し、半導体やスマートフォン関連投資が増加したことにより若干増収

地域別売上高推移（）内%は構成比率



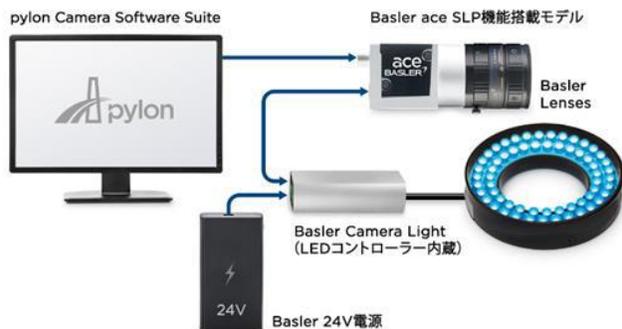
画像検査用LED照明

産業用カメラとシームレスにつながる検査用LED照明を発売

シーシーエス(株)、ドイツBasler社※との共同開発 画像検査用LED照明「Basler Camera Light」

※Basler AG 産業用カメラの大手メーカー コンピュータビジョン向けの画像処理機器を製造する世界的なリーディングカンパニー

特長① システム設計の工数や費用の削減



カメラとLED照明の間がケーブル1本で通信できる

特長② 画像検査に適した多様な照明ラインナップ



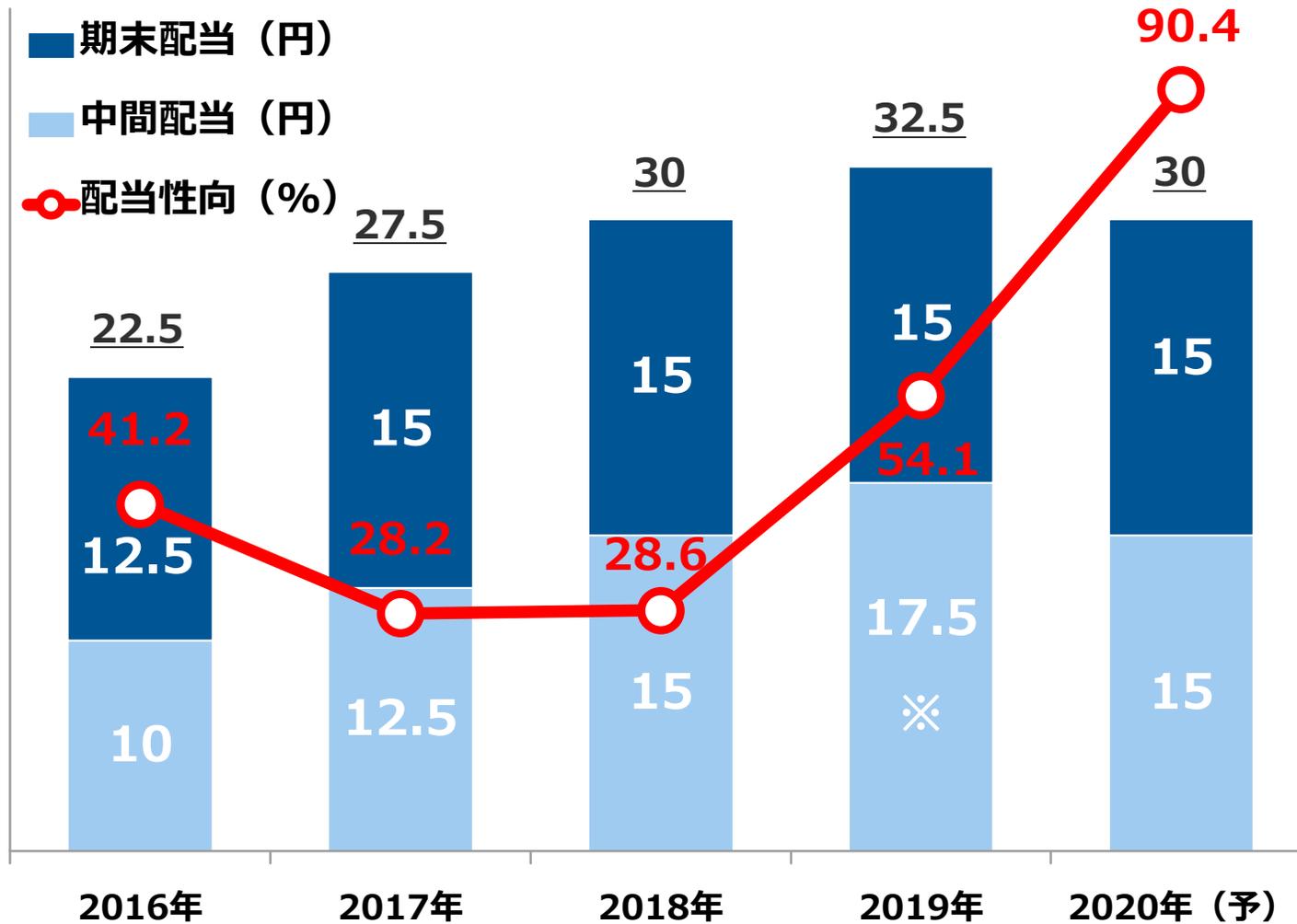
お客様の検査環境に応じた各種形状、発光色のLED照明を
国内・海外で販売

画像検査用LED照明・カメラ・レンズ等を含む トータルソリューションの提供により更に事業拡大

2020年12月期 通期連結業績予想

経営成績 (単位:百万円)		2019/12期 通期実績	2020/12期 通期予想 (7/13発表)	増減額	増減率
売上高		37,517	34,500	-3,017	-8.0%
営業利益 (営業利益率)		2,856 (7.6%)	1,800 (5.2%)	-1,056	-37.0%
経常利益		2,876	2,000	-876	-30.5%
親会社株主に帰属 する当期純利益		2,197	1,200	-997	-45.4%
1株当たり当期純利益 (円)		60.02	33.19		
為替レート (円)	1USD	109.05	106.64		
	1EUR	122.07	117.15		

配当金・配当性向・ROE



自己株式の取得 (実績)

	2018年	2019年
取得総額	15億円	10億円
取得株数	70万株	67万株

※創立40周年記念配当2.5円を含む

ROE	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年 (予)
ROE	7.4%	12.6%	12.3%	6.8%	-

成長戦略

在宅勤務、営業自粛・短縮により不在の事業所、店舗を狙う犯罪件数が増加傾向
不法侵入が46%増加、自動車盗が61%増加（前年比） 米ニューヨーク市警の2020年6月末時点統計



防犯システムの重要性が再認識されている

コロナ禍が長期化する欧米で「画像確認ソリューション」の拡販を加速させる



生活のあらゆる場面で「タッチレス」ニーズが高まっている

エレベーターのボタン、照明ON・OFFスイッチ、タッチパネル、体温計など

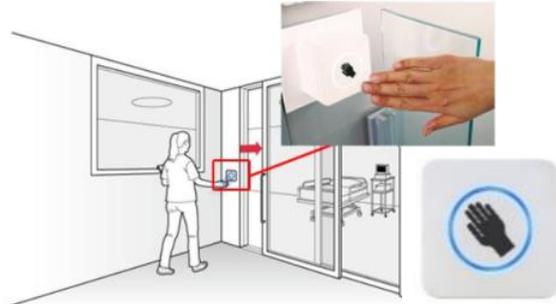


当社の成長戦略_SS事業（自動ドア関連）

現在、既存製品から「非接触型」への切り替えを促進中



押しボタン式開閉スイッチ



触らないスイッチ
「クリーンスイッチ」



タッチ式スイッチ



触らない
「光線式タッチレススイッチ」



今後、手動ドアから自動ドアへの切替が進む



手動ドア



自動ドア

自動ドア用センサーの 需要が拡大

在宅時間の増加で中食（惣菜・コンビニ弁当など）の市場規模が拡大



テレワーク、オンライン授業、オンライン診療等の増加で5Gの普及が加速



各製造業向けに工場用センサー、画像検査照明のラインアップ拡充、ソリューション提案の強化

食品・包装業界向け

現在、食品工場への設備投資需要が好調



冷凍食品等 (内食)



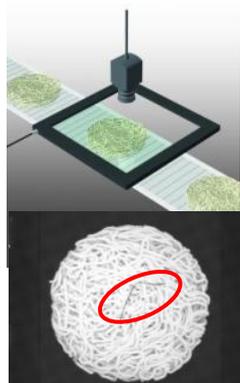
弁当・惣菜 (中食)



レトルトパウチの賞味期限印字検査



画像センサー



即席めんの異物混入検査



画像検査照明

半導体、電気・電子部品業界向け

今後、5Gのインフラ整備、関連機器分野への設備投資需要の拡大が予想される



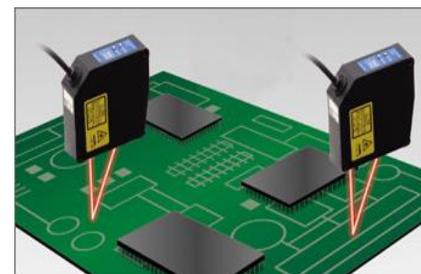
データセンター



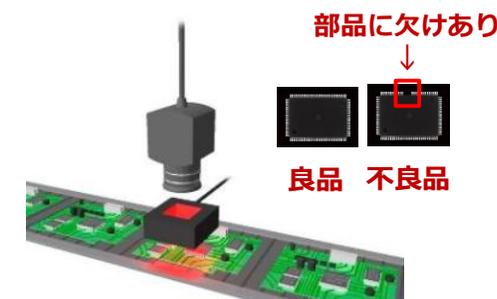
5G基地局



スマホ



変位センサー (製造工程)



画像検査照明 (品質検査工程)

<https://www.optexgroup.co.jp/>

会社概要

会社概要

会社名	オプテックスグループ株式会社
所在地	滋賀県大津市
創立日	1979年5月25日
資本金	2,798 百万円
売上高	37,517百万円
営業利益	2,856百万円
決算月	12月
証券コード	東京証券取引所 6914
連結従業員数	1,885名

(数値：2019年12月期実績)

オプテックスグループは
センサーの総合メーカーです。

「見えないものを、見るしごと。」

【会社名の由来】

オプテックスグループ

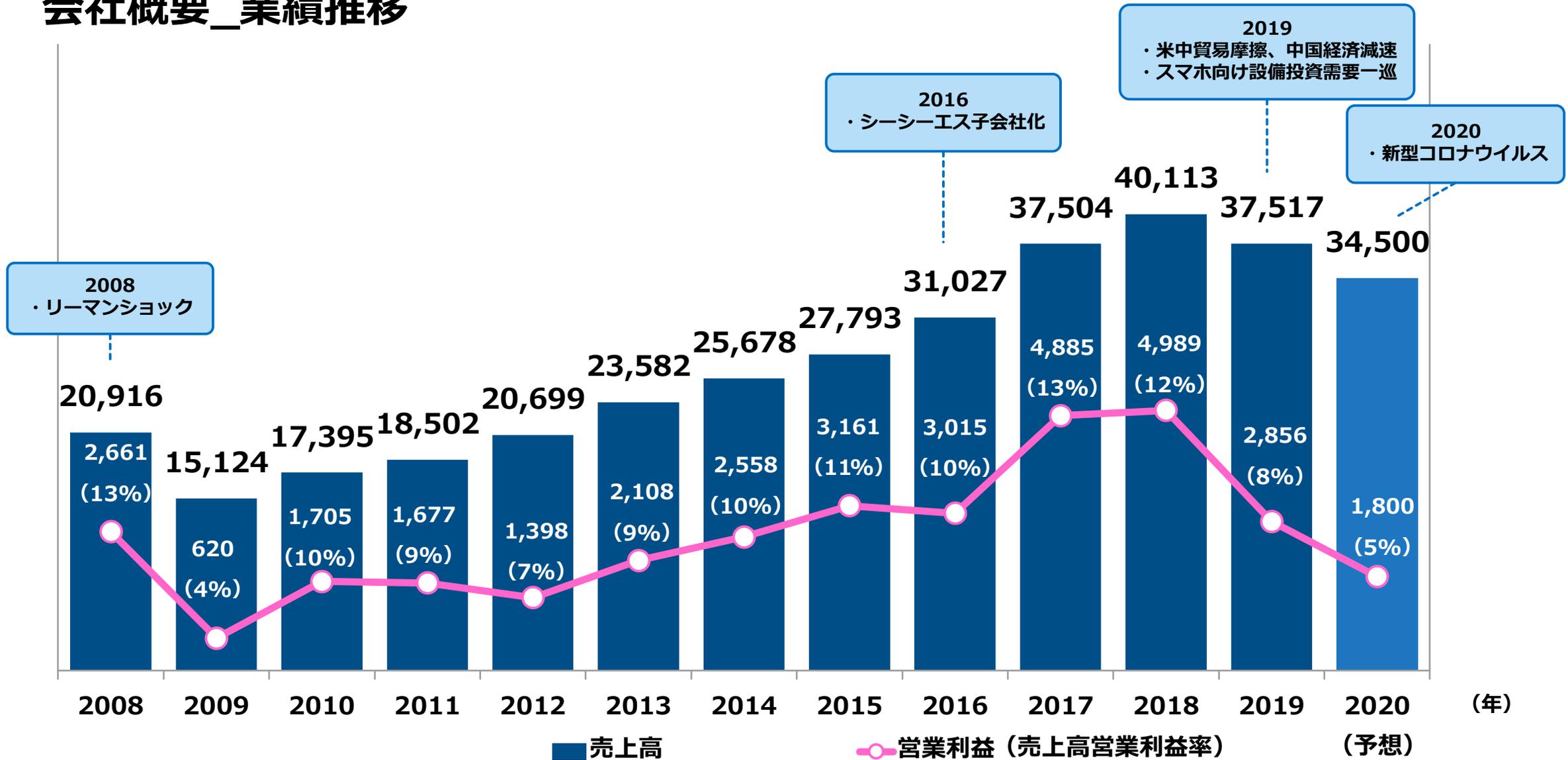
OPTEX

OPTical TEchnology
光学技術

未知、未来を表す
X (エックス=ギリシャ語)



会社概要_業績推移



会社概要_沿革

- 1979年 創立
- 1980年 世界初、赤外線利用の自動ドア用センサーを開発
- 1985年 米国カリフォルニアに子会社を設立
- 1991年 店頭公開（現JASDAQに相当）
- 1996年 屋外防犯用センサーを開発
- 2001年 東証二部上場
- 2002年 オプテックス・エフエー株式会社を設立
- 2003年 東証一部上場
- 2005年 中国に自社工場を設立
オプテックス・エフエー株式会社上場
- 2016年 シーシーエス株式会社を子会社化（63.5%の株式を取得）
- 2017年 オプテックス・エフエー株式会社を完全子会社化
オプテックスグループ株式会社を**持株会社**とする新体制に移行
- 2018年 シーシーエス株式会社を完全子会社化



創立当時



自動ドア用センサー1号機



屋外防犯用センサー



オプテックス・エフエーが開発した工場用センサー



中国の自社工場（広東省東莞市）



シーシーエスの画像検査用LED照明

会社概要_体制図

オプテックスグループ株式会社

(東京証券取引所 第一部上場 証券コード：6914)



SS事業

FA事業

MVL事業

EMS事業

その他事業

(売上高) **198**億円
(営業利益) **17**億円

(売上高) **71**億円
(営業利益) **6**億円

(売上高) **94**億円
(営業利益) **5**億円

(売上高) **6**億円
(営業利益) **0.8**億円

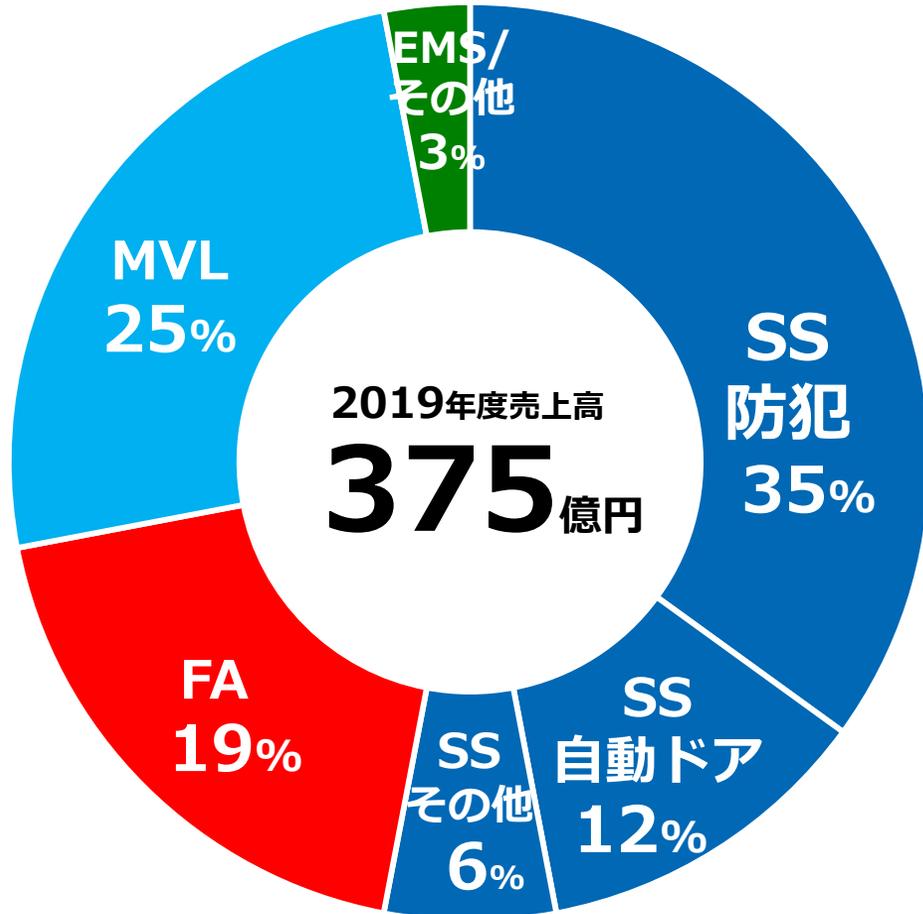
(売上高) **5**億円 (売上高) **1**億円
(営業利益) **0.01**億円 (営業利益) **0.05**億円

(売上高、営業利益：2019年12月期実績)

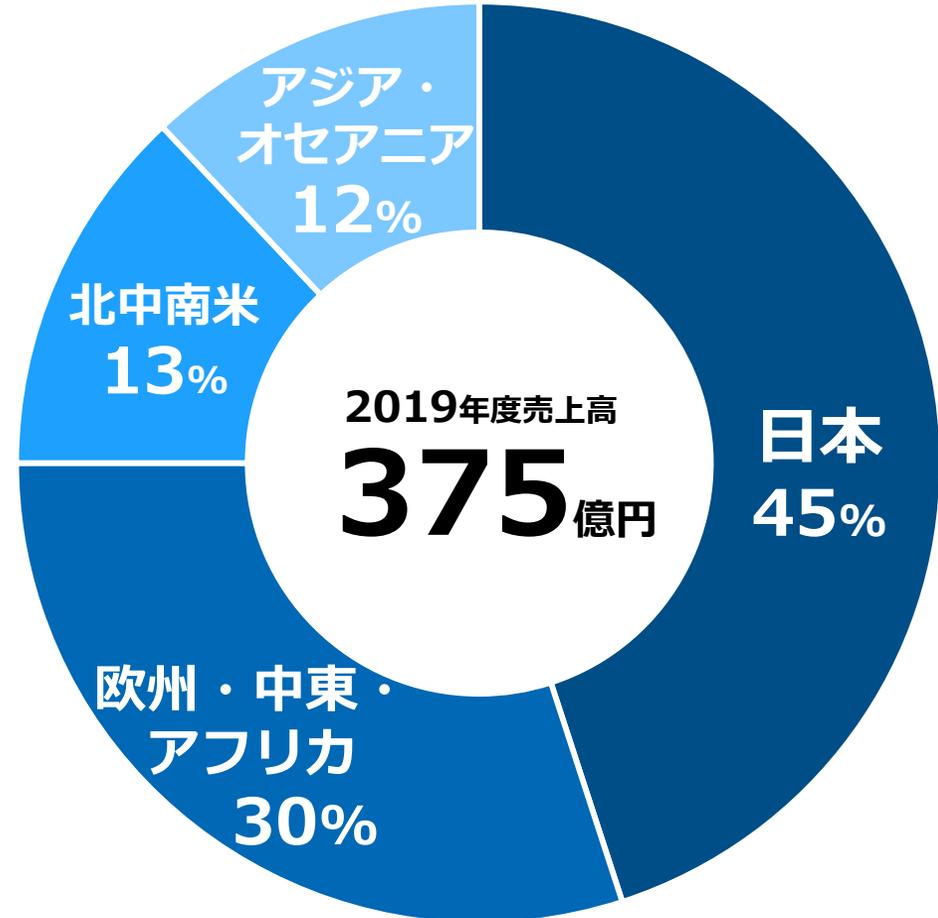


会社概要_売上構成比

事業別



地域別



会社概要_マーケットシェア

「グローバルニッチNo.1」

防犯

40%

屋外用侵入検知センサー



重要施設向けセンサー

カメラ付きセンサー

自動ドア

30%

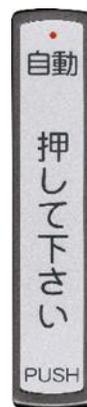
自動ドア用センサー



赤外線センサー



クリーンスイッチ



タッチスイッチ

画像検査用照明

30%

画像検査用LED照明

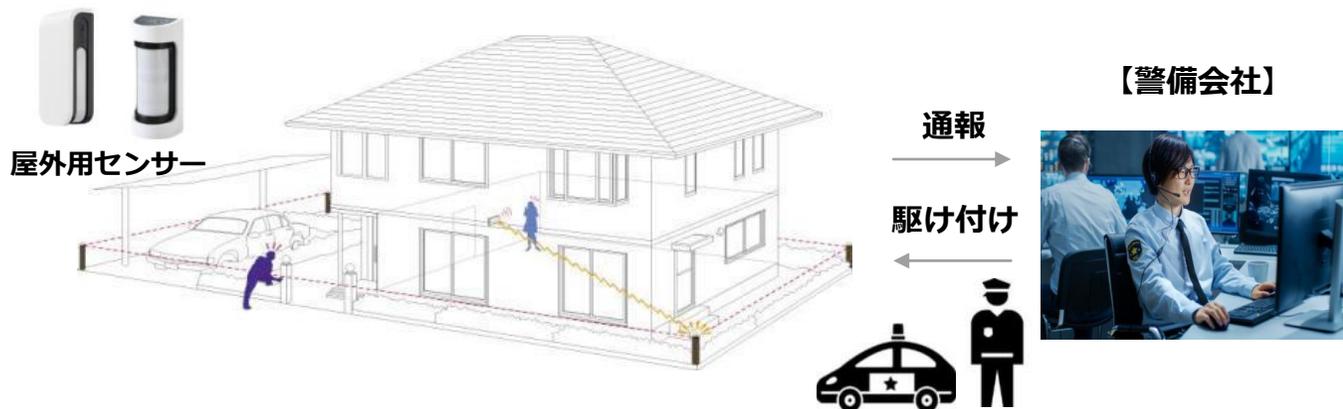


各種LED照明

事業概要_防犯センサー

屋外用侵入検知センサーで世界トップシェア

一般家庭・商業施設など



高級住宅（海外）



オフィス



大型重要施設



発電所・石油インフラ施設



空港



事業概要_自動ドアセンサー

国内シェア50%、海外シェア20%

2020年6月 自動ドアセンサーが、経済産業省認定「新グローバルニッチトップ企業100選」に選定
(2013年に続き2回目の受賞)

1980年、当時はまだ軍事用途が中心だった赤外線を、自動ドアセンサーに応用しました。



マットスイッチ (床)



自動ドア用センサー1号機



赤外線センサー (頭上)

ショッピングセンター



コンビニ向けシェア60%以上



新幹線車両内自動ドア



工場、倉庫用シャッター



フォークリフトを確実に検知

事業概要_ファクトリーオートメーション用センサー



工場の生産工程で自動化、省人化に役立つセンサーを提供

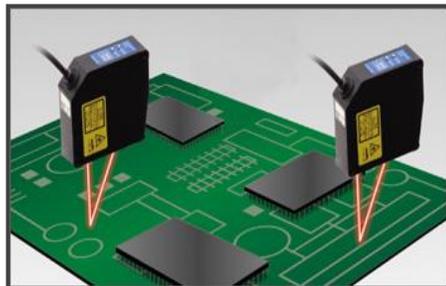
変位センサー



半導体、電気・電子部品業界向け



スマートフォンのフレームの高さ測定

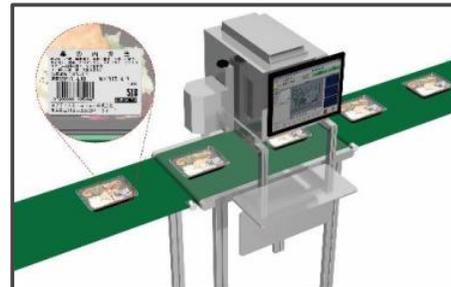


基板の傾き、ソリ測定

画像センサー



三品業界向け（食品、医薬品、化粧品）



弁当・惣菜の賞味期限印字検査

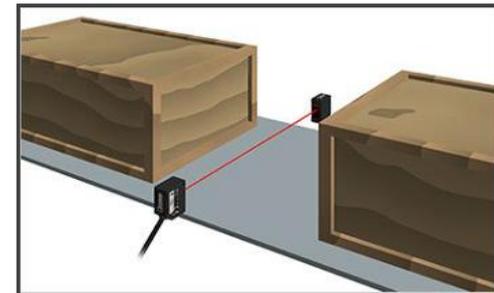


牛乳の賞味期限印字検査

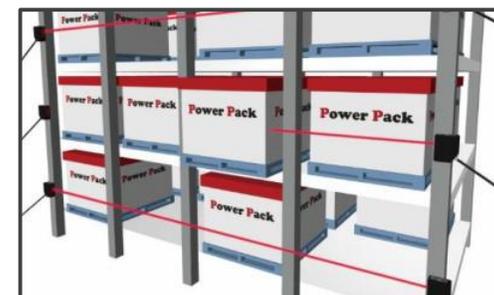
光電センサー



物流業界向け



段ボールや木箱の通過検出



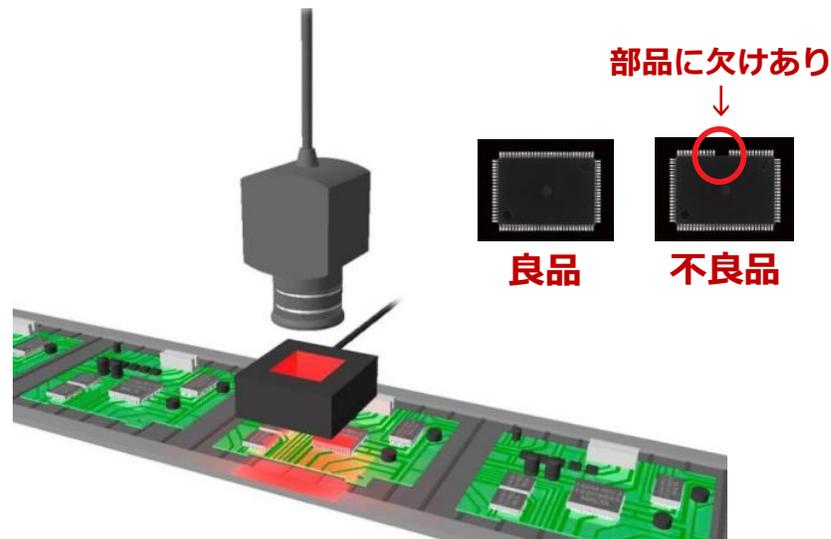
自動倉庫ではみ出し検出

事業概要_画像検査用LED照明

CCS は1993年設立の、LEDを活用した**検査用照明**メーカー

検査用照明とは？※

工場で何かを生産する場合は、**各工程ごとに必ず「検査」のプロセスがあり**、検査対象物を照明・電源、レンズ・カメラを使って撮像し、画像を基に「良品 or 不良品」の判定を行います。



プリント基板の実装部品欠陥検査



ベアリングの刻印文字撮像

缶詰表面の汚れ撮像

金属表面上のQRコード撮像

※ 画像処理用の照明として利用されることから、マシンビジョン照明と言います。

ESGの取り組み 当社はESG課題に積極的に対応し企業価値の向上に努めています。



Environment (環境)

環境問題を解決する製品・サービス

工場・倉庫で省エネに貢献するシャッター用センサー

横切るだけの動きに反応せず、向かってくる動きだけに反応することで、無駄な開閉を防止、空調効率を改善



IoTを活用した、簡易水質測定システム



Social (社会)

地域社会との関わり

CSR活動の一環として、立地環境を生かした社会貢献「びわこ環境体験学習プログラム」を運営



カヌー



外来魚しらべ



プランクトン観察

Copyright (C) 2020 OPTEX GROUP CO., LTD.



Governance (ガバナンス)

ガバナンス体制の取り組み

取締役・監査等委員11名中、3分の1以上の4名に独立社外取締役（弁護士・公認会計士を含む）を選任

2020年3月開催の定時株主総会で初めて女性の社外取締役1名を選任



取締役会での活発な議論を通じた意思決定で戦略の質を高め、更なる企業価値の向上を実現